

第2章. 都市の緑がもつ役割

1. 環境保全面から

①都市の骨格を形成します。

山・丘陵（地の系）や多摩川（水の系）などの大規模な緑地は、都市の骨格を形成します。

②自然と共生した都市環境を形成します。

山・丘陵や多摩川は、自然生態系の源となり、公園緑地等や社寺林などは市街地内におけるビオトープ^注（野生生物の生息地）となっています。

また、これらが道路の緑や中小河川で結ばれると、ビオトープネットワーク（野生生物の移動空間）となり、自然と共生した都市環境を形成します。

③快適な生活環境を形成します。

公園緑地等や街路樹、生け垣や庭木などのまちなかの緑は、快適でうるおいのある生活環境を形成します。

④気温・湿度を調節し、ヒートアイランド現象などを緩和します。

山・丘陵や多摩川などの大規模な緑地、これらを結ぶ中小河川や道路の緑、連続して残る河岸段丘の崖線樹林は、気温・湿度を調節し、ヒートアイランド現象などの環境への負荷を緩和します。

⑤優れた自然環境や歴史風土を伝えていきます。

落葉広葉樹林や野草自生地、史跡や文化財、市内各所に残る名木・古木、社寺林などは、地域固有の優れた自然環境や歴史風土を伝えていきます。

注 ビオトープ

ドイツ語の「B i o」（生命）と「T o p e」（場所）の合成語で、昆虫、動物など野生生物が安定して生息できる自然の生態系が機能する空間をいいます。

2. レクリエーション面から

①身近に自然と親しみ、ふれあう場となります。

山・丘陵や多摩川などの河川は、森林や水辺と親しむレクリエーションや保養の場となります。また、市民農園などの農地は土とのふれあいの場となります。

②誰もが安全・快適にレクリエーション活動を行える場となります。

身近な公園は、すべての人々が、日常生活において安全かつ快適に健康づくりなどのレクリエーション活動を行える場となります。

③広域的な野外レクリエーション拠点となります。

山・河川や特徴ある公園緑地等は、広域的かつ多様なレクリエーション活動の拠点となり、観光の活性化にも役立ちます。

④レクリエーション・ネットワークを形成します。

公園緑地等や観光名所などを結ぶ道路の緑や山・河川のハイキングコース、遊歩道は、レクリエーション・ネットワークを形成し、多様な需要に対応するとともに、相互の利用活性化にも役立ちます。

3. 防災面から

①火災の延焼や災害の拡大を防ぎます。

河川や農地は、延焼遮断・防火帯となるとともに、耐火性に優れた常緑樹による街路樹や住宅の生け垣や庭木などは、火災の延焼やブロック塀の倒壊などによる災害の拡大を防ぎます。

②騒音・振動等を軽減します。

住宅地と工業地域との間の緑地帯は、緩衝機能^注をもち、騒音・振動などを軽減するとともに、災害時の被害拡大を防ぎます。

③災害時に広域的な防災拠点や避難場所となります。

大きな公園緑地等は、災害時の広域避難場所、救助・救急や復旧活動のための広域防災拠点となり、市民の生命を守ります。

④災害時に一次的な避難地、避難路となります。

身近な公園や農地、社寺境内地などは、災害時に広域的な避難場所などへ避難する際の一次的な避難地となります。また、街路樹などによって緑化された道路は避難路となり、安全な避難活動に役立ちます。

⑤自然災害の発生防止に役立ちます。

丘陵地端部の斜面緑地などは土砂災害の発生防止に役立ち、山・丘陵の森林、特に落葉広葉樹林は水源かん養効果^注が高く、水害の発生防止に役立ちます。

^注緩衝機能

都市において、工場や道路、鉄道から周辺の住宅地や市街地への公災害を和らげ防止する機能をいい、緩衝緑地とは都市公園の1つで、公災害を防止するため、住宅地と工業地域などの境界地区に設けられる緑地のことです。

^注水源かん養効果

雨水などを吸収して、水源が枯れるのを防いだり、水流が一時に集中して河川に注ぎ洪水を起こすことを防ぐ効果です。落葉広葉樹林は針葉樹林より水源かん養効果が高いため、自然災害を防止する機能が高いといえます。

4. 景観面から

①青梅市固有の自然景観を形成します。

山・丘陵や多摩川は、都市の輪郭や市街地の背景となり、市街地に残る河岸段丘^注の崖線樹林や花の名所などは、美しく特徴ある景観をつくりだし、青梅市固有の自然景観を形成しています。

②各々の地区を特徴づけるシンボル、ランドマークとなります。

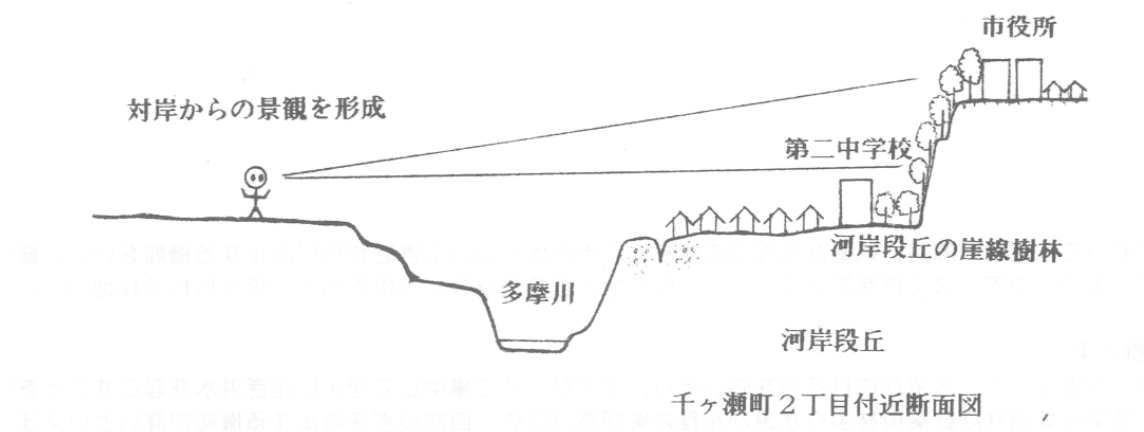
大木・社寺林や城跡などの史跡は、シンボルやランドマーク(象徴・目印)として各々の地区を特徴づけています。

③まちなみにゆとりとうるおいを与えています。

公共公益施設や民有地の花壇・植え込み、まちなかの身近な公園などは、建築物が形成する無機質な都市景観を和らげ、まちなみにゆとりとうるおいを与えています。

④緑化活動等を通じて交流が深まり、コミュニティの形成に役立ちます。

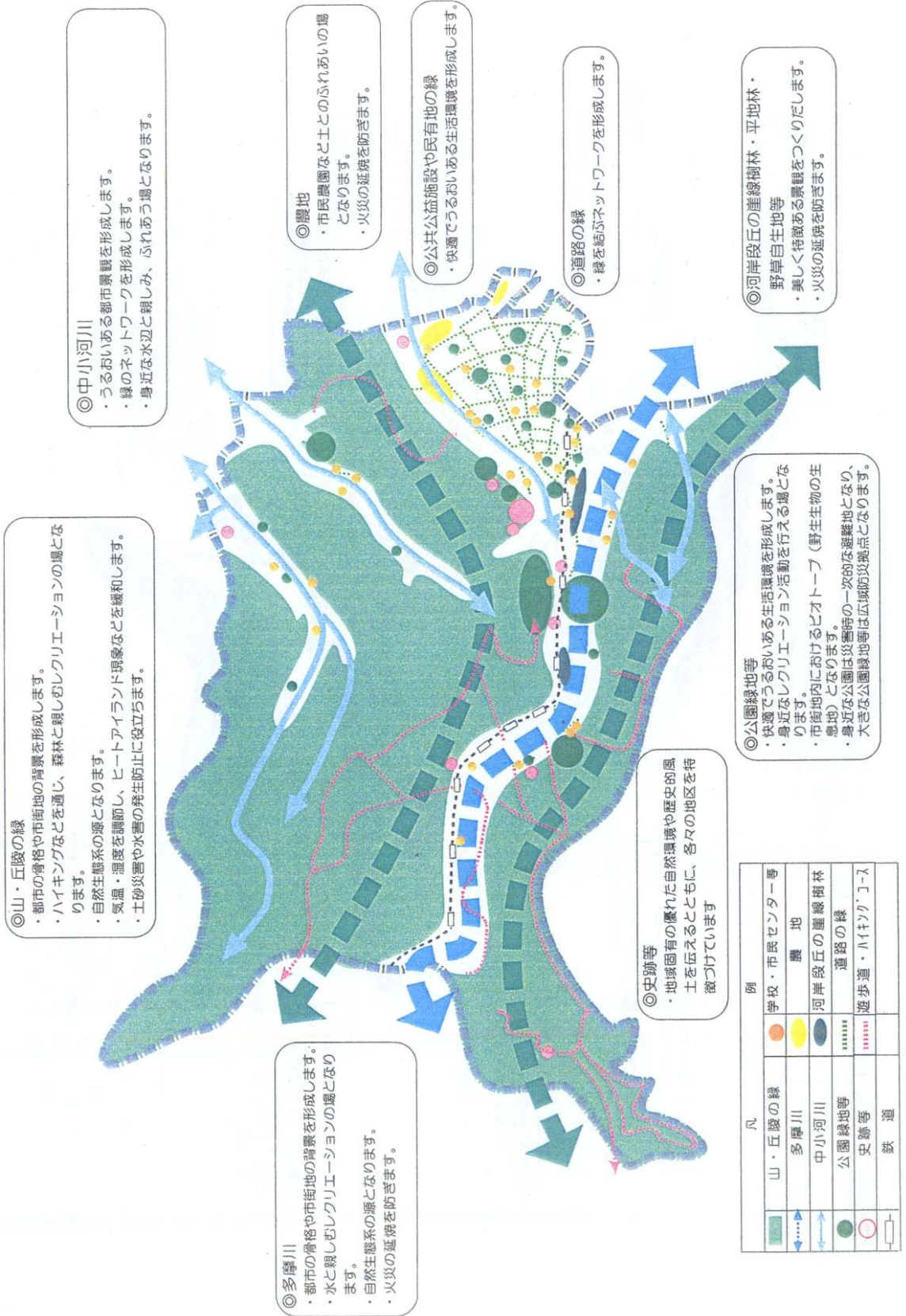
花壇の設置管理など、市民参加による緑化活動や緑に関するイベントなどを通じ、市民の交流が深まり、コミュニティ(地域社会)の形成に役立ちます。



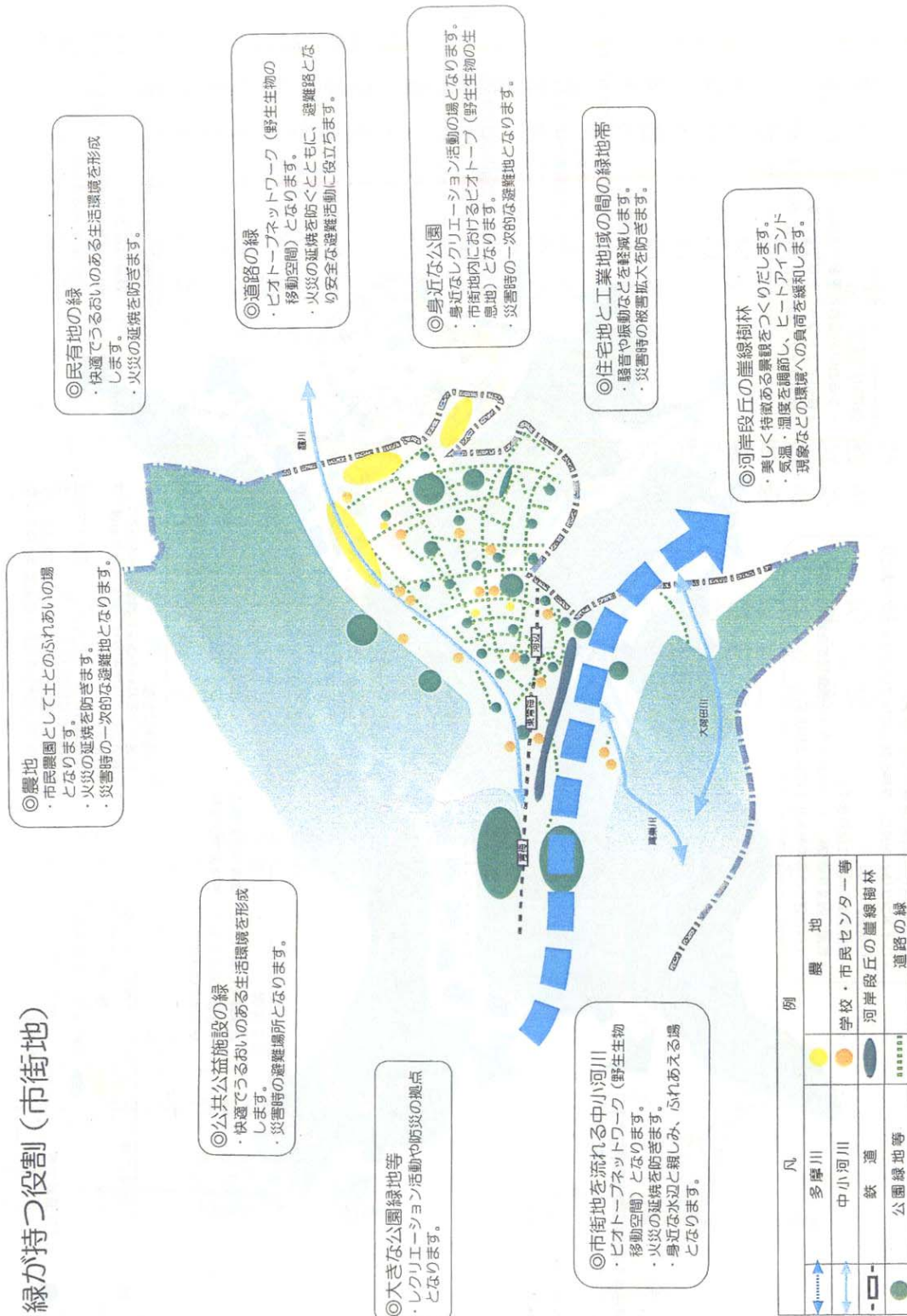
^注河岸段丘

河川の流れて沿って分布する平坦部と浸食によって形成された急斜面からなる階段状の地形をいいます。青梅市では千ヶ瀬町や河辺町に、昔の多摩川の流れてによって形成された河岸段丘の崖線樹林が残っています。

緑が持つ役割



緑が持つ役割（市街地）



◎農地
 ・市民農園として土とのふれあいの場となります。
 ・火災の延焼を防ぎます。
 ・災害時の一次的な避難地となります。

◎民有地の緑
 ・快適でうるおいのある生活環境を形成します。
 ・火災の延焼を防ぎます。

◎公共施設設の緑
 ・快適でうるおいのある生活環境を形成します。
 ・災害時の避難場所となります。

◎道路の緑
 ・ビオトープネットワーク（野生生物の移動空間）となります。
 ・火災の延焼を防ぐとともに、避難路となり安全な避難活動に役立ちます。

◎大きな公園緑地等
 ・レクリエーション活動や防災の拠点となります。

◎身近な公園
 ・身近なレクリエーション活動の場となります。
 ・市街地内におけるビオトープ（野生生物の生息地）となります。
 ・災害時の一次的な避難地となります。

◎市街地を流れる中小河川
 ・ビオトープネットワーク（野生生物移動空間）となります。
 ・火災の延焼を防ぎます。
 ・身近な水辺と親しみ、ふれあえる場となります。

◎住宅地と工業地域の間の緑地帯
 ・騒音や振動などを軽減します。
 ・災害時の被害拡大を防ぎます。

◎河岸段丘の崖線樹林
 ・美しく特徴ある景観をつくりだします。
 ・気温・湿度を調節し、ヒートアイランド現象などの悪化への負荷を緩和します。

凡	例
	多摩川
	農地
	中小河川
	学校・市民センター等
	河岸段丘の崖線樹林
	公園緑地等
	道路の緑